

◎ 南半球における母船による捕鯨の規制に関する日本国と  
ソヴィエト社会主義共和国連邦との間の取極

(略称) ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取極

昭和五十二年十月 四日 東京で署名

昭和五十二年十月 四日 効力発生

昭和五十二年十月十八日 告示  
(外務省告示第二四七号)

目 次	ページ
前 文 .....	一〇三七
第一条 解禁期 .....	一〇三七
第二条 いわし鯨、ミンク鯨及びまっこう鯨の割当頭数の配分 .....	一〇三七
第三条 区域及び区分における捕獲頭数 .....	一〇三八
第四条 取極の終了 .....	一〇四三
第五条 効力発生 .....	一〇四三
第六条 有効期間 .....	一〇四三
末 文 .....	一〇四三

(原文)

南半球における母船による捕鯨の規制に関する日本国と  
ソヴィエト社会主義共和国連邦との間の取極

前文

千九百四十六年十二月二日ビワシノムで署名された国際捕  
鯨取締条約(以下「条約」といふ)の締約政府である日本国及  
びソヴィエト社会主義共和国連邦の政府は、  
次のとおり協定した。

第一条

解禁期

この取極の適用上、「解禁期」とは、条約の付表2(ア)から(エ)  
までの規定に基づき南半球におけるセイ鯨、ミンク鯨及び  
ヒンク鯨の捕獲が許される期間をさう。

For the purpose of the present Arrangement,  
the term "season" shall mean the season during  
which the taking of sei whales, minke whales  
and sperm whales in the Southern Hemisphere is  
permitted under subparagraphs (a), (b), (c)  
and (d) of paragraph 2 of the Schedule to the  
Convention.

ARTICLE 1

千九百七七年・千九百七八年解禁期における、条約に基  
づき南半球における母船による捕獲を認められたセイ鯨、ミ  
ンク鯨及びヒンク鯨の総割当頭数のうちの日本国及びソヴィ  
エト社会主義共和国連邦の割当頭数は、次のとおり両国の間に  
割当する。

(1) セイ鯨

日本国  
ソヴィエト社会主義共和国連邦  
111-1頭

四六〇頭

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取極

In the 1977/78 season, of the total quota  
of sei whales, minke whales and sperm whales,  
authorized under the Convention to be taken  
in the Southern Hemisphere by pelagic expedi-  
tions, the quota allotted to Japan and the  
Union of Soviet Socialist Republics shall be  
allocated between the two countries in the  
following manner:

(i) Sei whales

Japan .....	.....
Union of Soviet Socialist Republics .....	311

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取扱

| Oil

(ii) ミンク鯨

日本国	一一一四〇頭
ソヴィエト社会主義共和国連邦	一一一六〇頭

(iii) オランの鯨

(a) 雄

日本国	一二〇頭
ソヴィエト社会主義共和国連邦	一一一九一頭

(b) 雌

日本国	一一一六頭
ソヴィエト社会主義共和国連邦	九五〇頭

第三十一条

区域及び  
区分にお  
ける捕獲  
頭数

(1) 次のいずれかの区域又は区分におけるいずれか一方の政府の管轄下にある母船による捕獲頭数は、次の限度を超えてはならない。

(i) ジンベニア及びミンク鯨

(a) 第一区域（西経百一十度から西経六十度まで）

日本国  
ジンベニア  
ミンク鯨

一一一頭

(ii) Minke whales

Japan .....	2400
Union of Soviet Socialist Republics .....	2600

(iii) Sperm whales

(a) Male

Japan .....	704
Union of Soviet Socialist Republics .....	3291

(b) Female

Japan .....	226
Union of Soviet Socialist Republics .....	950

ARTICLE 3

(1) The catches taken in any of the Areas or the Divisions as described below by pelagic expeditions under the jurisdiction of either Government shall not exceed the limits shown below:

(i) Sei whales and Minke whales

(a) Area 1 120°W - 60°W

日本国  
ジンベニア  
ミンク鯨

七七頭  
〇頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦  
ジンベニア  
ミンク鯨

一一一頭

第一区域 (西経六十度から零度まで)		
(a) 日本国	○頭 九八頭	〇頭 九八頭
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
日本国	日本国	日本国
第三区域 (零度から東経七十度まで)	第三区域 (零度から東経七十度まで)	第三区域 (零度から東経七十度まで)
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
日本国	日本国	日本国
第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)	第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)	第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦	ソヴィエト社会主義共和国連邦
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
日本国	日本国	日本国
第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)	第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)	第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)
「わし鯨	ミンク鯨	ミンク鯨
(b) Area II 60°W - 0°	Japan ..... 0 sei whales	Japan ..... 98 minke whales
(c) Area III 0° - 70°E	Japan ..... 0 sei whales	Japan ..... 1037 minke whales
(d) Area IV 70°E - 130°E	Union of Soviet Socialist Republics ..... 0 sei whales	Union of Soviet Socialist Republics ..... 789 minke whales
(e) Area V 130°E - 170°W	Japan ..... 460 sei whales	Japan ..... 481 minke whales

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取締

| O E O

ソビエト社会主義共和国連邦

シエラ鯨

シベク鯨

(f) 第六区域 (西経百七十度から西経百一十度まで)

日本国

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

シエラ鯨

シベク鯨

(ii)

日本国

シエラ鯨

シベク鯨

第一区分 (西経六十度から西経三十度まで)

日本国

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

シエラ鯨

シベク鯨

(a) 第一区分 (西経六十度から西経三十度まで)

日本国

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

八八九頭  
二九五頭

Union of Soviet  
Socialist  
Republics .....

0 sei whales  
216 minke whales

(f) Area VI 170°W - 120°W

Japan .....  
0 sei whales  
344 minke whales

Union of Soviet  
Socialist  
Republics .....  
0 sei whales  
344 minke whales

(ii) Sperm whales

(a) Division 1 60°W - 30°W

Japan .....  
0 male  
0 female

(b) Division 2 30°W - 20°E

Japan .....  
0 male  
0 female

Union of Soviet  
Socialist  
Republics .....  
326 male  
94 female

(b) Division 2 30°W - 20°E

Japan .....  
0 male  
0 female

Union of Soviet  
Socialist  
Republics .....  
889 male  
295 female

日本国

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

シエラ鯨

シベク鯨

ソビエト社会主義共和国連邦

八八九頭  
二九五頭

(c) 第三区分 (東経二十度から東経六十度まで)

Japan ..... 282 male  
60 female

ソヴィエト社会主義共和国連邦

Union of Soviet Socialist Republics .....  
753 male  
283 female

(d) Division 4 60°E - 90°E

Japan ..... 121 male  
0 female

111頭  
○頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦

Union of Soviet Socialist Republics .....  
502 male  
0 female

(e) Division 5 90°E - 130°E

Japan ..... 10 male  
18 female

118頭  
○頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦

Union of Soviet Socialist Republics .....  
44 male  
0 female

(f) 第六区分 (東経百三十度から東経百六十度まで)

Japan ..... 59 male  
67 female

59頭  
○頭

ソヴィエト社会主義共和国連邦

Union of Soviet Socialist Republics .....  
44 male  
0 female

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取極

ソ連邦との一九七八年における南半球捕撃規制取極

|〇四|

(2)	ソヴィエト社会主義共和国連邦 雄 雌	114頭 114頭	Union of Soviet Socialist Republics ..... 245 male ..... 34 female
(g)	第七区分 (東経百六十度から西経百七十度までは) 日本国 雄 雌	1117頭 75頭	(g) Division 7 160°E - 170°W Japan ..... 137 male ..... 75 female
(h)	ソヴィエト社会主義共和国連邦 雄 雌	1110頭 18頭	(h) Division 8 170°W - 100°W Japan ..... 186 male ..... 36 female
(i)	第八区分 (西経百七十度から西経百度までは) 日本国 雄 雌	116頭 116頭	Union of Soviet Socialist Republics ..... 775 male ..... 283 female
(i)	第九区分 (西経百度から西経六十度までは) 日本国 雄 雌	○頭 ○頭	(i) Division 9 100°W - 60°W Japan ..... 0 male ..... 0 female Union of Soviet Socialist Republics ..... 0 male ..... 0 female
(1)	ソヴィエト社会主義共和国連邦 雄 雌	○頭 ○頭	(1) の規定にかかるか、さわが一方の政府の管轄下にあ (2) Notwithstanding the above provisions, the

る母船による区域別又は区分別の捕獲頭数の合計は、前条においてそれぞれの国に配分された割当頭数を超えてはならぬ。

第四条

## 了取極の終

この取扱の締約政府でない政府の管轄下にある母船が南半球における捕鯨に従事し、かつ、当該政府が条約の締約政府であり又は締約政府となつた場合には、この取扱は、終了する。

第五条

効力發生

この取極は、前文に掲げる政府によつて署名された日に効力  
を生ずる。

第六条

有效期間

この取扱は、千九百七十七年・千九百七八年解禁期の終了まで実施する。

末文

以上の説教として、下名は  
各の政府から正当に委任を受  
けてこの取扱に署名した。

千九百七十七年十月四日に東京で、英語により本書二通を作成した。

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取極

ARTICLE 4

sum of the Area or the Division catches by pelagic expeditions under the jurisdiction of either Government shall not exceed the quotas for their respective countries as allocated in Article 2.

ARTICLE 5

The present Arrangement shall enter into force on the day upon which it is signed by the Governments referred to in the preamble

The present Arrangement shall be operative until the end of the 1977/78 season.

In witness whereof the undersigned, being duly authorized thereto by their respective Governments, have signed the present Arrangement.

Done in duplicate at Tokyo, the fourth day of October 1977, in the English language.

ソ連邦との一九七八年における南半球捕鯨規制取極

|〇四四

日本国政府のために

本野盛幸

ソヴィエト社会主義共和国連邦政府のために

D・S・ボリヤンスキイ

For the Government of Japan:  
(Signed) Moriyuki Motono

For the Government of the Union  
of Soviet Socialist Republics:  
(Signed) D.S. Polianskii

(参考)

この取極は、国際捕鯨取締条約の締約国である日本国及びソヴィエト社会主義共和国連邦の両政府間において一九七七年・一九七八年解禁期の南半球における捕鯨規制について定めたものである。